



「進んで行動、笑顔いっぱいの陶小学校」をめざして

校長 加納 素介

このたびの異動により、多治見市立根本小学校より赴任しました加納 素介(かのもとすけ)と申します。前任校は多治見市ですが、それ以前に稲津中学校に勤務しており、親しみのある瑞浪市での勤務となります。転入職員一同、保護者や地域の皆様方から“陶の一員”と認めていただけますよう誠心誠意の勤務を心掛けていきますので、よろしく願いいたします。



陶小学校の新しい1年が4月7日にスタートしました。今年度は、新入生15名を迎え、全校児童111名、転入教職員6名を加えた教職員22名(非常勤、支援員等を含む)でのスタートです。

「陶小学校の子どもたちは素直で明るい。陶はとても教育に熱心で地域の方の思いが熱い。」ということをお聞かしています。赴任してからの1週間の間にも地域の方の熱い思いをお聞きして、地域に支えられている学校であることが伝わってきました。こうした中で育つ子どもたちは、「学校が好き」と答えています。このような陶の子の素晴らしさを大切にしながら、陶小学校の学校教育目標「心豊かでたくましくやりとげる陶の子～やさしく かしく たくましく～」、合い言葉「すえっ子」の具現をめざして、全職員が一丸となって教育活動に精一杯取り組みます。

陶小の子どもたちは、昨年度開校した瑞浪南中学校へ進学していきます。その時、稲津小の子どもたちと一緒に、瑞浪南中学校を築いていきます。稲津小との交流などによる仲間意識の醸成は勿論のこと、自ら進んで行動できるたくましさも身に付けていきたいと考えています。

「進んで行動(たくましさ)、笑顔いっぱい(やさしさ)の陶小学校」をめざしていくために、7日の始業式では、次のような話を子どもたちにしました。

「**全校児童111名**」この3つの「1」は、陶にある3つの世界一を表しています。

①世界一の狛犬 ②世界一の茶壺 ③世界一の陶小学校(自分にとって唯一の学校)

陶小学校が皆さんにとって、先生にとって、保護者にとって、地域にとって「世界一だ！」と思える学校を自分たちの手で創っていきましょう。そのために「すえっ子」を大切にしよう。

「す」すんで行動

低学年のみなさんは、自分のやる事を自分でしましょう。

高学年のみなさんは、仲間のため、学級のため、学校のために、家族のため、地域のために行動しましょう。



「え」顔いっぱい

低学年のみなさんに、2つ

- ・勉強の時間は、自分の考えたこと思ったことをどんどん発表しましょう。
- ・お友だち、お兄さん、お姉さん、お家の人、地域の人に大きな声で挨拶をしましょう。

高学年のみなさんに、2つ

- ・勉強の時間は、分からないことは分からないと言える仲間作りをしましょう。
- ・陶小あいさつ(相手の顔を見て 名前を呼んで)を広めましょう。

特に6年生のみなさんは、最高学年として姿で示しましょう。期待しています。では、「すえっ子」111名、笑顔いっぱいの陶小学校を創っていきましょう。

